

東京都生協連コープ災害 ボランティアネットワーク

20 年
anniversary

2001年度～2021年度



CO-OP VOLUNTEER NETWORK FOR DISASTER

東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークの 20 年

2001年に災害ボランティア・リーダー養成講座を開始し、2002年5月24日に設立した東京都生協連コープ災害ボランティアネットワーク（略称CO災ボ）は、今年で20周年を迎えました。

CO災ボは、「首都圏で発生する大規模災害に対し、被害軽減や拡大防止のために東京都生協連の会員生協や行政などと連携して災害救援活動に従事する」「平時には地域でのボランティア活動ができる人材の育成を目指す」「国内各地で発生する大規模災害に対し、東京都生協連と共同し、東京災害ボランティアネットワークと連携して被災地派遣を行う」ことを目指して設立されました。CO災ボの会員には、主に東京都生協連災害ボランティア・リーダー養成講座修了者が登録し、生協の組合員と職員が構成する幹事会が運営しています。また、年度ごとに総会を開催し、1年間の活動報告、次年度の活動計画、会則の変更、幹事の選出などを決議しています。

2009年度～2011年度には活動の節目として中期計画を立て、生協の枠を超えた居住地域での活動という考え方が生まれました。第12回総会（2014年7月5日）では「ボランティア・リーダー養成講座」から「ボランティア養成講座」に変更し、内容や講座数を見直すことで受講者を広げ、地域や生協で活動できるボランティア育成を重要な活動の柱と位置づけました。さらに、2020年度～2022年度には20年の活動を今後につなぐために3カ年計画を立て進めています。

CO災ボでは常に「活動のあり方はこのままでよいか」「何かできることは他にあるか」と、何度もふりかえり見直してきましたが、2020年1月に日本で感染が確認され急拡大した新型コロナウイルスへの対策は、否応なく活動を大きく変えることになりました。これからも変えてはいけないことは守り、変えるべきことには新しくチャレンジするために、CO災ボのこれまでの20年の活動をまとめました。

2022年5月28日 東京都生協連コープ災害ボランティアネットワーク幹事会

東京都生協連コープ災害ボランティアネットワーク（CO災ボ）の設立まで

1995年1月の阪神・淡路大震災や2000年6月から始まった三宅島噴火などの自然災害から、首都圏での大規模災害に、東京都生協連の全ての会員生協および行政等と連携して災害救援活動に従事し、被害の軽減や拡大防止に取り組むために、2001年8月に災害ボランティア・リーダー養成講座を開始し、2011年度から災害ボランティア養成講座に形を変え、地域に密着したボランティア活動の実践を目指しました。平時にはボランティア育成と防災・減災のネットワーク作りを進め、国内での大規模災害に際しては東京都生協連と東京災害ボランティアネットワーク（以下東災ボ）と連携し、被災地や被災者支援に取り組んできました。

東京都生協連大規模災害対策連絡会は、大規模災害への会員生協の対策について情報交換や共同で対策の強化に取り組むことを目的に、会員生協の大規模災害対策責任者などの構成で設立。2002年度災害ボランティア・リーダー養成講座のカリキュラム策定と災害ボランティアのネットワーク作りを目的としたプロジェクトを設置しました。プロジェクトチームは2回の会議で協議し、2002年5月10日に提案書を提出しました。

「東京都生協連災害ボランティア・リーダー登録と養成講座に関する提案書」により、以下が提案されました。

- 率先してボランティア活動を行い、地域の中で社会的貢献をはたし、所属する生協で防災意識を高めてボランティア活動を実践するため、スキルアップと情報交換を行うネットワークを作る。
- ネットワーク化のために、「スキルアップ講習」「東京都合同総合防災訓練への参加」「受講生が行う図上演習への参加」「他ボランティア団体との交流」「ボランティア活動への参加」「交流情報紙の発行」などに取り組む。
- 講習は全8回、土日曜日を基本に平日は座学で組み立てる。職員だけでなく広く組合員に参加を呼び掛ける。最初にボランティア活動の大切さや意義を学び救急救命や図上演習などを実施する。

2002年5月24日に設立の会を開催。名称・活動内容・会則を決定し、合わせて幹事4名を選出しました。

設立の会では、東京都生協連名和専務理事より「今後の大規模災害への対策の重要性、これまでの日本生協連・中央地連・東京都生協連の対策について」「東京都生協連2001年度災害ボランティア・リーダー養成講座修了者のネットワーク化の必要性」について説明がありました。

2001年度第1期災害ボランティア・リーダー養成講座

災害対策における生協の役割を果たすために、災害救援を実行できる人材育成とボランティアに対する理解を目指して開講。27名が修了しました。

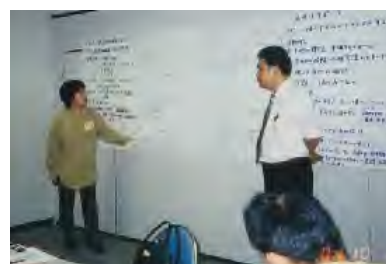
| | | |
|-----|---------------|--|
| 第1講 | 2001年8月18日(土) | 「いざという時役立つ…応急救護訓練」日赤東京都支部 応急救護手当入門、包帯法、炊き出し、救護資機材の操作 |
| 第2講 | 9月22日(土) | 「災害にあわてないために…防災館体験訓練」東京消防庁の池袋防災館で体験 |
| 第3講 | 10月4日(木) | 「東京はどうなる?…直下型大規模災害のおそろしさを知る」東京都総務局災害対策部計画課 陰山峰子さん |
| 第4講 | 10月13日(土) | 「ボランティアセンターの運営とコーディネーターの役割」とちぎボランティア情報ネットワーク事務局長 矢野正広さん |
| 第5講 | 10月27日(土) | 「生協の事業再開と地域の生活復興」日生協中央地連大規模災害対策協議会事務局長 五辻活さん ワークショップ 早稲田大学研究員 菅磨志保さん |
| 第6講 | 11月16日(金) | 卒論まとめと修了式 「地域社会に貢献するボランティア活動のネットワークと生協の役割」コープこうべ 橋口文博さん 「東京災害ボランティアネットワークの役割と生協への期待」東災ボ事務局長 上原泰男さん |
| その他 | 9月1日(土) | 7都府県合同総合防災訓練（多摩地区中心） |



第1講



第3講



第5講

東京都・練馬区合同総合防災訓練

2002年9月1日(日)に、練馬区光が丘公園と光が丘第八小学校で実施されました。訓練の目的は「災害時の住民による自助・共助体制確立の促進」「関係防災機関の参加により、公助を担う地区と都の役割分担に基づく連帯による災害対応能力の向上」であり、東京都生協連は東京都生協連災害対策本部や現地災害対策本部の設置、MCA無線訓練、応急生活物資の調達と輸送、災害派遣団の結成・派遣・ボランティア活動、災害医療対策訓練などに参加しました。



【想定】午前7時30分練馬区で震度6弱以上を記録。住宅や商業施設に大きな被害あり。ライフラインが切断された。



右) 炊き出し訓練
下) 東京保健生協救護班による災害対策医療訓練



CO災ボが設立し、東災ボや東京都生協連と連携して第1期修了者を中心に、被災者支援や防災減災の講座や訓練などさまざまな活動をスタートしました。取り組みは現在にも引き継がれています。

第5回三宅島島民ふれあい集会

ふれあい集会は年に2回開催。2002年11月4日(月)港区芝浦小学校に都内各地や近県から1,300人が参加されて再会を喜び合い励まし合いました。2000年6月26日に始まった火山活動により9月1日に全島避難、3年目を迎えられた島民のみなさんが触れ合う場を提供するために、「東京都生協連三宅島島民ふれあいテント」を設営し、組合員と職員のボランティア33人が参加しました。



「ふれあいテント」では、会員生協から提供された菓子パンと紅茶などがふるまわれ、CO災ボ会員も協力しました。

第1回総会 2003年5月10日(土)に開催
記念講演「想定される東海地震と生協の課題」
日本生協連中央地連大規模災害対策協議会事務局長 五辻 活さん
「連合東京におけるボランティア活動」
連合東京ボランティアサポートチーム事務局 真島 明美さん

2002年度災害ボランティア・リーダー養成講座 第2期34名修了

| | | |
|-----|-------------------|--|
| 第1講 | 2002年 8月24日(土) | 開講式と講演 「生活協同組合におけるボランティア活動の意義」東京都生協連名和三次保専務理事 「地域社会とボランティア活動」東京ボランティア・市民活動センター副所長 安藤雄太さん |
| 第2講 | 9月1日(日) | 東京都・練馬区合同総合防災訓練参加 |
| 第3講 | 9月21日(土) | 池袋防災館体験訓練 |
| 第4講 | 10月5日(土) | 「応急救護訓練その1」日赤東京 |
| 第5講 | 10月19日(土) | 「応急救護訓練その2」日赤東京 |
| 第6講 | 10月20日(日) | 「応急救護訓練その3と資格取得者試験」日赤東京 |
| 第7講 | 11月9日(土) | 災害ボランティア図上演習 |
| 第8講 | 11月30日(土) | 修了式と記念講演 講話：東京都生協連伊野瀬十三事務局長 「神戸の体験から 災害における生協の事業再開とボランティア活動」日本生協連 布藤明良常務理事 |

いま、わたしたちにできること。

1.17 KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2003年1月18日(土)東京国際フォーラムで開催。会場設置やおしるこの炊き出しで協力。

コープ災害ボランティアネットワークニュースの発行



2002年9月27日「リーダー養成講座ニュース」第1号～第3号発行
2003年2月17日「ネットワークニュース」第1号～第2号発行

災害ボランティア・リーダー養成講座の構築

【講座開設の目的】

- ①組員・役職員の災害に対する理解を増進する
- ②災害時に必要な最低限の具体的技術や手法を獲得する
- ③地域経済復興と生協事業の関係について学ぶ
- ④東京の生協と災害ボランティア活動への理解をたかめる
- ⑤組員・生協役職員によるボランティア活動参加者を育てる
- ⑥組員・生協役職員による災害ボランティア組織のリーダー層を育成する

【講座と修了後の活動】

- ・2001年度は7講座を実施し、2002年度は1講座増やして8講座を実施しました。
- ・2001年度の修了生の意見や提案を生かし、日本赤十字社東京都支社の協力により赤十字救急法の全講座をカリキュラムに組み入れたことが特徴です。受講生は朝から夜まで3日間にわたる厳しい講習を、指導員が驚くほど熱心に受講しました。最後に筆記試験と実技試験を受け、救急法救急員資格を28名が取得しました。
- ・第1講は東京ボランティア・市民活動センター所長の安藤雄太副さんによる「地域社会とボランティア活動」と、東京都生協連の名和三次保専務理事による「生活協同組合におけるボランティア活動の意義」の講演を行いました。第8講は日本生協連の布藤明良常務理事による「神戸の体験から 災害時における生協の事業再開とボランティア活動」をテーマとした記念講演を行いました。賀川豊彦が礎を創った生活協同組合は元来ボランティア組織であることの再認識、生協人として地域社会や職場において、積極的なボランティアリーダーとしての活躍への期待など貴重な講演でした。
- ・11月30日（土）に講座修了式が行われ、34名の受講生全員に、東京都生協連伊野瀬事務局長から修了証が手渡された。修了者は「東京都生協連コープ災害ボランティアネットワーク」の会員となり、東京災害ボランテ

2002年度第2期災害ボランティア・リーダー養成講座



第2講
9月1日(日)
東京都・練馬区合同総合
防災訓練

ボランティア・リーダー養成講座第2講の位置づけとして、炊き出し訓練を実施しました。



第3講
9月21日(土)
池袋防災館における消
火訓練

体験の目的は、災害を想定して、防災に対する知識や技術を少しでも学ぶためです。



第7講
11月9日(土)
災害ボラン
ティア図上
訓練

「自分のまちはみんなで守ろう～災害状況への想像力・判断力を養う～」図上シミュレーション訓練で災害発生時の被害状況への想像力を養い、個人と組織の対応力、リーダーの判断力を高める目的で実施しました。



第8講
11月30日(土)
修了式と記念講演

修了式ではボランティア・リーダー養成講座修了証と皆勤証、赤十字救急法救急員認定証の授与式が行われました。

東京災害ボランティアネットワーク主催「帰宅困難者徒歩帰宅訓練」

東京直下型地震では、多くの帰宅困難者が発生すると言われています。正確な情報の発信や受信はどのように行いどのように行動するのかを考えるため、2003年8月31日(日)に実施されました。エイドステーションの設置、炊き出しや飲料の配付、情報伝達の訓練を行いました。また、50人を1班として、新宿中央公園から甲州街道沿いに京王線つつじヶ丘駅前の金龍寺まで、徒歩での帰宅訓練を行いました。



リーダー養成講座の受講者30人が参加



エイドステーション

生協組合員が担い手である地域の助け合い活動の現場から要望を受け、活動に必要なスキルを身に付けるために、日赤東京による「応急救護訓練」に、「幼児安全法」を加え3回の連続講座のみでも受講できるようにして、リーダー養成講座の参加対象が広がりました。



いま、わたしたちに、できること。

1. 17 KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2003年1月18日(土)14時~18時に、東災ボ主催により東京国際フォーラムで開催されました。1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災で亡くなられた方々の冥福を祈り、大震災で起きたことの記憶を風化させないために、また、自分自身や大切な人の「いのちとくらし」を守るため防災や減災が大切なことに改めて気づく機会です。



17時30分にグラスに入れたろうそくに火をともし、「1.17 KOBE」の文字が浮かび、やさしく揺らぎます。



東京都生協連のテントで、おしるこや甘酒の炊き出し訓練を行いました。

三宅島帰島に向けて、話し合いが始まりました。

三宅島は以前に比べ少なくなったとはいえ、二酸化硫黄の検出濃度が各地点で高い状態でした。しかし、「一日でも早く帰りたい」という願いを受け、三宅村・東京都・内閣府で構成する「三宅島帰島プログラム検討委員会」の報告書に「島民のみなさんと協働し、帰島を視野に入れた準備と環境整備を行っていききたい」と記載されました。これを受け説明会や帰島に関するアンケート調査を実施し、帰島の時期などを検討することになりました。

2003年度災害ボランティア・リーダー養成講座 第3期39名修了

| | | |
|-----|-------------------|---|
| 第1講 | 2003年 8月23日(土) | 午前：池袋防災館での体験学習 午後：開講式と講演 「生活協同組合におけるボランティア活動の意義」 東京都生協連 伊野瀬十三専務理事 「防災まちづくりとボランティア活動」練馬区防災課主査 高橋 洋さん |
| 第2講 | 8月31日(日) | 東京都・日野市合同総合防災訓練 東災ボと連携した「帰宅困難者対応訓練」新宿中央公園~つつじヶ丘駅前 |
| 第3講 | 9月20日(土) | 選択講座「救急救命法」(全21時間)「幼児安全法」(全15時間) 日赤東京 |
| 第4講 | 9月27日(土) | 選択講座「救急救命法」「幼児安全法」 日赤東京 |
| 第5講 | 9月28日(日) | 選択講座「救急救命法」「幼児安全法」 日赤東京 |
| 第6講 | 10月18日(土) | 災害体験図上演習 |
| 第7講 | 10月25日(土) | 修了式と記念講演 「災害ボランティア活動の基本」富士常葉大学環境防災学部教授 重川希志依さん |

第8回三宅島島民ふれあい集会

2004年5月9日(日)港区芝浦小学校で開催。東京都生協連の「ふれあいテント」に協力。

会員のスキルアップ

ボランティアリーダー養成講座修了後のスキルアップのために、4名の会員が養成講座を受講しました。

コープ災害ボランティアネットワーク ニュース

第3号~第9号発行

第2回総会

2004年5月22日(土)
記念講演「今後の帰島計画について」
東京都三宅村帰島対策課長 菊地世紀さん

三宅島での支援活動が可能になり、東災ボからの協力への呼びかけを受けて、現地での支援活動がスタートしました。

三宅島島民帰島支援ボランティア派遣はじまる

2004年2月1日に避難解除が発表され、帰島が始まり、東京都生協連は会員生協のボランティア派遣を行い、CO 災ボからも多くの会員が参加しました。ボランティアは三宅島・東京災害ボランティア支援センターの事前研修を受け、全員がお揃いの赤い帽子をかぶり活動しました。



年末に独居高齢者の自宅の大掃除に各生協の組合員や職員が訪れます。掃除だけでなく一緒に昼食を摂り、楽しく交流することを目指しています。



毎年12月初旬には、おもちつきなどをして交流する、『みやげじま「風の家」と東京を結ぶ交流会』が開催されます。

1.17 KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

阪神淡路大震災から10年となる2005年1月15日(土)に開催。今回は三宅島ブースを設置し、被害状況や復旧へのボランティア活動の様子を報告しました。

炊き出し訓練の火起こし



2004年度災害ボランティア・リーダー養成講座 第4期26名修了

| | | |
|-----|-------------------|---|
| 第1講 | 2004年 8月22日(日) | 午前：池袋防災館での体験学習 午後：開講式と講演 「生活協同組合におけるボランティア活動の意義」 東京都生協連 伊野瀬十三専務理事 「災害時におけるボランティア活動」 富士常葉大学環境防災学部講師 小村隆史さん |
| 第2講 | 8月29日(日) | 「東京都合同総合防災訓練」東災ボと連携した帰宅困難者 対応訓練 東京駅～千葉県市川市 |
| 第3講 | 9月18日(土) | 選択講座「救急救命法」(全21時間)「幼児安全法」(全15 時間) 日赤東京 |
| 第4講 | 9月19日(日) | 選択講座「救急救命法」「幼児安全法」日赤東京 |
| 第5講 | 9月25日(土) | 選択講座「救急救命法」「幼児安全法」日赤東京 資格取得試験 |
| 第6講 | 10月9日(土) | ロープワーク 災害ボランティア支援センター立ち上げ 訓練 |
| 第7講 | 10月23日(土) | 災害ボランティア図上演習 |
| 第8講 | 10月30日(土) | 修了式と記念講演 「東京都における防災対策と今後の三宅島支援について」 東京都総務局総合防災部防災対策課長 斉藤和弥さん |

東京都・荒川・台東・墨田区合同総合防災訓練

2004年9月1日(水)他県のボランティア受け入れ拠点設置訓練、担架搬送訓練、まち歩きに参加しました。

1.17 KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2005年1月15日(土)

コープ災害ボランティアネットワーク

ニュース 第10号～第15号発行

第3回総会

2005年7月15日(金)

三宅島島民帰島支援

2005年2月～8月に会員22人（生協全体で112人）が参加しました。支援内容は、島民が居住していた家屋の古い家財の整理や清掃、畳の入れ替えなど。引っ越し後には屋内の整理、一面に生えた萱や竹の刈り取りなど庭の手入れ、島の生活に欠かせない自給自足のための家庭菜園「苗場」の整備など、多岐にわたりました。

また、12月には、阿古地区に設置された「みやげじまく風の家」でのボランティアに参加しました。



住居の片づけや庭の手入れ

ボランティア・リーダー養成講座修了後のCO災ボ会員のスキルアップのために、修了した会員が養成講座を受講できるようになりました。

新潟豪雪除雪ボランティア

第1期2006年1月28日(金)～30日(日)、第2期2月3日(金)～5日(日)、東京災害ボランティアネットワークの要請を受け、小千谷市山寺地区で雪かきボランティアに東京都生協連と共に10名が参加。ひとり暮らしの高齢者のお宅や、雪かきをしたくてもできないお宅を中心に作業しました。



小千谷市山寺公民会を拠点に、3食自炊、シュラフで睡眠をとりました

第1回静岡県外の災害ボランティアによる図上演習

2006年2月25日(土)～26日(日)に静岡県ボランティア協会が呼びかけた図上演習にCO災ボ幹事2名を派遣しました。東海地震を想定し、お互いに協力しながら救援活動を迅速に進めていく、広域支援の仕組みを考える場として、協力ネットワークを広げました。



日本生協連中央地連 図上演習

2006年2月に行われた演習には、ボランティアの視点での参加について、協力要請があり、CO災ボ幹事が参加。大規模災害に対し事業の継続や被災者支援など実践的な演習を行いました。



2005年度災害ボランティア・リーダー養成講座 第5期45名修了

| | | |
|-----|-------------------|---|
| 第1講 | 2005年 12月3日(土) | 午前：開講式と講演 「生活協同組合におけるボランティア活動の意義」東京都生協連 伊野瀬十三専務理事 「地域社会とボランティア活動」東災ボ事務局長 上原泰男さん 午後：池袋防災館での体験学習 |
| 第2講 | 2006年 1月28日(日) | 選択講座「救急救命法」(全21時間)「幼児安全法」(全15時間)日赤東京 |
| 第3講 | 2月4日(土) | 選択講座「救急救命法」「幼児安全法」日赤東京 |
| 第4講 | 2月5日(日) | 選択講座「救急救命法」「幼児安全法」日赤東京 |
| 第5講 | 2月18日(土) | 災害疑似体験「防災まち歩き」 |
| 第6講 | 3月4日(土) | 災害疑似体験「図上演習」 |
| 第7講 | 10月25日(土) | 修了式と記念講演 「市民の防災と災害ボランティアの役割」市民防災研究所理事 池上三喜子さん |

帰宅困難者徒歩帰宅訓練

2005年8月28日(日)東災ボ実施の訓練に参加しました。(東京芸術劇場～埼玉県庁前)

東京都・町田市合同総合防災訓練

2005年9月1日(木)ボランティア訓練などに参加しました。

1.17 KOBE MEMORIAL 灯りのつどい
2006年1月14日(土)

コープ災害ボランティアネットワーク
ニュース

第16号～第21号発行

第4回総会 2006年7月7日(金)
災害支援活動として、三宅島帰島支援事業を映像で報告しました。

三宅島支援

「みやけじま風の家」支援を中心に活動しました。2006年5月20日(土)に「みやけじま『風の家』と東京を結ぶ交流会」を開催し、多くの島民のみなさんが参加され生協や連合東京のボランティア30人と交流しました。

また、「年末お掃除ボランティア」を2006年12月10日(金)～12日(日)、12月19日(金)～21日(日)の2回実施。CO 災ボ会員を中心に12人に加えて三宅村中学校の

三宅島の第1次支援活動は第2次支援事業に移行し、「みやけじま風の家」を活用した島民ボランティアが中心となって運営し、東京の生協は財政支援と運営をサポートし、CO 災ボは定期的に支援することになりました。

東京都・足立区合同総合防災訓練

2006年9月1日(金)に東災ボの要請により、「障がい福祉センターあしすと」の通所生と引率職員、外国人の方といっしょに、帰宅困難者支援のボランティア体験に参加協力しました。



「みやけじま風の家」は2005年10月設立。地域のみなさんが主体的に地域課題に取り組み、コミュニティ支援活動を行なうことを目的としています。



雄山を背景に三池港にて。



三宅村中学校のみなさんと。



コープこうべ視察

2007年1月19日～20日に東京都生協連大規模災害対策連絡会主催コープこうべ視察に幹事が参加しました。コープこうべの震災での経験とその後10年の事業、組合員によるボランティア活動から首都直下地震への対応を考え、生協の役割やさまざまな団体や人とのネットワークを考えました。



2006年度災害ボランティア・リーダー養成講座 第6期44名修了

| | | |
|-----|-------------------|--|
| 第1講 | 2006年 9月9日(土) | 午前：開講式と講演 「次の大震災に備える～阪神・淡路大震災の教訓から～」 総務省消防研究センター所長 室崎益輝さん 「東京の生協による三宅島帰島支援から見てきたこと」 東京都生協連組織課長 生原勇さん |
| 第2講 | 10月14日(土) | 「池袋防災館見学」被災地映像鑑賞・起震体験など |
| 第3講 | 11月4日(土) | 徒歩帰宅訓練 東災ボが実施した訓練に参加。日比谷公園→川崎市中原区 |
| 第4講 | 11月18日(日) | 「あなたならどうする！？～震災直後の怪我人救出体験～」救出劇鑑賞(連合東京ボランティアサポートチーム)、身近なものでできる応急救護体験 |
| 第5講 | 12月2日(土) | 「防災まち歩き体験～災後の対応から災前の活動へ～」災害と防災・減災の視点でまちを見る。 |
| 第6講 | 2007年 1月27日(土) | 普通救命講習(東京消防庁プログラム)心肺蘇生法とAED講習 |
| 第7講 | 2月24日(土) | 「災害図上訓練～災害を図上で体験！！～」災害直後に自身や周りができるか、どう行動するかイメージし、グループで共有。 |
| 第8講 | 3月17日(日) | 修了式と活動報告 修了証と皆勤賞の授与、車座座談会テーマ「私たちがめざすもの」 |

1.17 KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2007年1月13日(土)

コープ災害ボランティアネットワーク

ニュース 第22号～
ニュースの号数にずれあり、発行数不明

第5回総会

2007年7月14日(土)
記念講演「東京都の修正地域防災計画について」東京都総合防災部副参事 齋藤實さん、「首都直下地震とボランティア」東京都都民生活部係長 吉田さん

第7期ボランティア・リーダー養成講座 第4講

2007年12月1日(土)の講座では、災害時にライフラインが停まった時の炊き出し体験、負傷者を搬出するための担架搬送体験、ほのぼのの灯り作りなどの具体的な実技をグループに分かれて実施しました。身体を動かすプログラムで楽しく体験できました。



ハイゼック包装食用袋にお米と水を入れて茹でます。おにぎりより衛生的。アルファ化米は水やお湯を入れ一定時間置いて試食しました。



担架搬送と人による搬送訓練



7月16日に起きた新潟県中越沖地震により、首都直下地震に向けて東京の生協が連携する重要性を再認識しました。会員からもフォローアップ講習や、ボランティア活動への協力など、関心や要望が寄せられました。

第3講 帰宅困難者対応訓練

2007年11月17日(土)に「2007年首都圏統一帰宅困難者対応訓練」の西東京コースの参加者サポートや、中野区の杉山公園と杉並区の蚕糸の森公園のエイドステーションの運営に協力しました。20キロを歩くことにより、歩きやすい服装や靴の再認識、危険な場所のチェック、自分自身の体力など、災害時の動きを再認識する訓練でした。



杉山公園は、コープとうきょうが担当



2007年度災害ボランティア・リーダー養成講座 第7期54名修了

※**スキル**はスキルアップ研修を兼ねたオープン講座

| | | |
|-----|-------------------|---|
| 第1講 | 2007年 9月15日(土) | 開講式と記念講演 「危機管理・防災とボランティア・リーダー」明治大学大学院教授 青山侑さん 「阪神・淡路そして三宅島～私たちにできること」DVD上映 |
| 第2講 | 10月13日(土) | 「池袋防災館見学」3D映像で被災状況学習、起震体験、煙体験ハウスでの避難、消火器訓練など。 |
| 第3講 | 11月17日(土) | 「帰宅困難者対応徒歩訓練」東災ボ主催の訓練に参加。 スキル |
| 第4講 | 12月1日(土) | 「災害時を想定した具体的実技研修」炊き出し訓練、担架搬送、ロープワーク 連合東京ボランティアグループ スキル |
| 第5講 | 2008年 1月19日(土) | 「あなたならどうする!? 発災直後の怪我人救出体験」東京ボランティアサポートセンターの救出訓練劇と身近にあるものを使った応急手当の方法 |
| 第6講 | 2月19日(火) | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得。 スキル |
| 第7講 | 2月23日(土) | 「防災まち歩き体験」中野区 スキル |
| 第8講 | 3月15日(土) | 修了式と意見交換 1年を振り返った活動報告、今後に向けて |

東京都・四市一町合同総合防災訓練

2007年9月1日(土) 昭島会場で三宅島支援等災害ボランティア活動のパネル展示。

東京都生協連主催「首都直下地震想定図上演習」

2007年11月ボランティア対応班で参加しました。

1.17 KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2008年1月12日(土) 国際フォーラム会場の設営支援とおしこの炊き出し訓練。

第3回静岡県内外の災害ボランティアによる図上演習

2008年2月23日(土)～24日(日) CO 災ボ幹事1名を派遣しました。

東京都・八丈島・青ヶ島村合同総合防災訓練

2008年10月21日(火) 三原小学校・中学校で行われた島しょ部訓練に参加しました。

コープ災害ボランティアネットワーク ニュース

第23号～第26号発行

第6回総会

2008年7月5日(土) 記念講演「私たちは向き合います。苦難の中にいる人々と世界に」シャンティ国際ボランティア会事務局長 関尚士さん

第8期ボランティア・リーダー養成講座開講式

2008年9月6日(土)の開講式は、第1部を賀川豊彦記念松沢記念館で、第2部を東都生活協同組合さんぽんすぎセンターで記念講演を行いました。

第1部は、明治学院大学名誉教授で松沢資料館館長の加山久夫さんから、賀川豊彦が創設した生活協同組合の原点と、関東大震災時の救護活動など、賀川豊彦の様々なボランティア活動のお話を伺いました。

第2部は、日本生協連元会長の竹本成徳さんから、阪神・淡路大震災時にコープこうべ組合長として指揮をとり、その当時の被災状況や、どのような支援が必要だったか、生活協同組合が果たした役割についてお話を伺いました。

コープこうべを創設し日本生協連初代会長を務め、「生協の父」と呼ばれた賀川豊彦は、若い時には神戸で貧困に苦しむ人々を救済する活動に取り組みました。活動を始めて100年、養成講座の開講式では、その志と業績を学びました。

コープ災害ボランティアだよ！全員集合！！

2009年4月25日(土)に国営昭和記念公園(立川市)で開催したメンバー交流会に、30人の会員が参加しました。カレーととん汁の炊き出し訓練は、あいにくの雨でしたが、参加者には「悪天候での作業がスキルアップにつながった」と好評でした。活発な交流ができ受講年度を超えた仲間づくりとなりました。



加山久夫さん



竹本成徳さん



合羽を着て炊き出しや交流を行いました。



首都直下図上演習

2008年6月21日(土)日本生協連中央地連主催企画に幹事7人が参加し、「組合員・住民・ボランティアチーム」に参加しました。

2008年度災害ボランティア・リーダー養成講座 第8期44名修了

| | | |
|-----|-------------------|---|
| 第1講 | 2008年 9月6日(土) | 開講式と記念講演「愛と協同 賀川豊彦献身100年から学ぶ」松沢資料館館長 加山久夫さん 「賀川豊彦に学ぶ 阪神・淡路大震災とコープこうべ」日本生協連元会長 竹本成徳さん |
| 第2講 | 9月23日(火祝) | 「徒歩帰宅訓練」エイドステーション運営、徒歩帰宅訓練(東京コース、千葉コース、埼玉コース) スキル |
| 第3講 | 10月11日(土) | 「池袋防災館体験見学」インストラクターによる講習、被災映像、起震体験、煙体験、消火器の使い方 |
| 第4講 | 11月8日(土) | 「災害時を想定した具体的実技研修と訓練」炊き出し、負傷者の搬送訓練 スキル |
| 第5講 | 12月13日(土) | 「あなたならどうする!?～震災直後の怪我人救出体験～」救出劇で安全確認や救出方法、応急手当を学習 スキル |
| 第6講 | 2009年 1月24日(土) | 「普通救命講習～東京消防庁プログラム～」心肺蘇生法とAED講習 |
| 第7講 | 2009年 2月14日(土) | 「防災まち歩き」 スキル |
| 第8講 | 3月6日(土) | 修了式と記念講演 賀川豊彦献身100年に寄せて～阪神・淡路大震災そして三宅島へ～東京都生協連のボランティア活動」東京都生協連会長理事 名和三次保さん スキル |

夏休み親子防災教室

2008年8月東京都生協連大規模災害対策連絡会主催企画に参加と協力。

東京都・中央区・江東区合同総合防災訓練

2008年8月31日(日) パネル展示とクイズなど災害時での生協の役割をアピール。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2009年1月17日(土) 幹事7名と今期の養成講座受講生が参加。国際フォーラム会場の設営支援とおしるこの炊き出し訓練。

コープ災害ボランティアネットワーク
ニュース

第27号～第30号発行

第7回総会

2009年7月11日(土) 記念講演「賀川豊彦と生協そしてボランティア」松沢資料館学芸員 杉浦秀典さん

「第8回CO災ボ総会」を昭和記念公園で開催！

2009年7月10日(土)開催の総会は、立川市の国営昭和記念公園で行い、37名の出席がありました。

第1号～第3号議案の提案、審議され、中期計画などの質疑応答を経て、全議案が可決承認されました。

総会終了後に交流会を開催。食器や軍手やタオルを持参し、炊き出し訓練に参加しました。



バーベキューやカレーを作って食べながら、情報交換やアイデアを出し合い、楽しくにぎやかな交流会となりました。



2009年5月に日本で最初の感染者が見つかった新型インフルエンザは、2000万人以上が感染し、亡くなった方はおよそ200人とされています。東京都生協連では5月19日に対策本部を立ち上げ、学習会などを実施しました。感染症への対策が現実となりました。

新型インフルエンザ対策

新型インフルエンザへの対策強化に向け、9月19日(土)東京都生協連主催の「新型インフルエンザ対策図上演習」や感染対策の学習会に参加しました。



感染拡大防止への貢献、生協間の支援体制構築など、各生協のBCPガイドライン策定が目標。



首都直下図上演習

2010年2月26日(金)日生協中央地連主催。応急救護物資を中心とする演習に幹事2名が参加しました。

東京都・世田谷区・調布市合同総合防災訓練

9月30日(日)に展示、パソコンを活用したクイズを行い、子どもたちを中心に120人が参加し、災害でどのような被害があり、どう対応するかがわかりやすく理解できたという好評でした。



＜CO災ボ中期計画＞

CO災ボでは、これまでも地域に根ざした活動の必要性は共有されてきましたが、改めて「CO災ボ会員による、CO災ボ会員のための、地域活動(交流)」という視点を持って、3カ年の中期計画策定の協議を進めました。幹事会では今後の活動やあり方などを明確にするために、中期計画策定会議を5回開催し、各生協の施設の活用のために、東京都の地図に落としとして施設マップを作成しました。会議を経て年度ごとの行動目標を具体化し、第8回総会で提案しました。

2009年度災害ボランティア・リーダー養成講座 第9期40名修了

| | | |
|-----|-------------------|---|
| 第1講 | 2009年 7月18日(土) | 開講式・オリエンテーション・グループ交流 ミニ学習「被災者支援を通じて生協理念の社会化に向けてのあゆみ」東災ボ事務局長 上原泰男さん |
| 第2講 | 8月22日(土) | 「池袋防災館体験見学」インストラクターによる講習、被災映像、起震体験、煙体験、消火器の使い方 |
| 第3講 | 9月26日(土) | 「徒歩帰宅訓練」エイドステーション運営、徒歩帰宅訓練(日比谷公園～練馬区光が丘公園) スキル |
| 第4講 | 10月24日(土) | 防災まち歩き体験(中野区) スキル |
| 第5講 | 11月14日(土) | 「災害時を想定した具体的実技研修と訓練」炊き出し訓練、もしも灯りが消えたら スキル |
| 第6講 | 12月12日(土) | 「普通救命講習～東京消防庁プログラム～」心肺蘇生法とAED講習 |
| 第7講 | 2010年 1月23日(土) | 「あなたならどうする!?～発災直後の怪我人救出体験～」救出劇で安全確認や救出方法、応急手当を学習 スキル |
| 第8講 | 2月20日(土) | 修了式と交流会 |

東京都・世田谷区・調布市合同総合防災訓練
2009年8月30日(日) パソコン防災クイズとパネル展示で参加しました。

1.17 KOBE MEMORIAL 灯りのついで
2010年1月16日(土) 国際フォーラム会場の設営支援とおしるこの炊き出し訓練

コープ災害ボランティアネットワーク
ニュース
第31号～第39号
発行

第8回総会
2010年7月10日(土)昭和記念公園で開催



障害のある人たちと歩く防災まち歩き

2010年8月29日(日)に実施された東京都・文京区合同防災訓練の1つである防災まち歩きに、CO 災ポの会員13人がボランティアとして協力し、これまで防災まち歩きの講座で学んだことを生かす機会となりました。障害のある人たちとビルや住宅が立ち並ぶ都心を歩き、楽しく交流しながら問題点を共有しました。

文京区でのまち歩きに参加し、高齢者や障害のある人、乳幼児など、災害時に特に配慮が必要な人への支援のあり方を考え、学びました。
3月11日の東日本大震災への支援活動を開始しました。



65人が本駒込駅に集合し、オリエンテーションを受けました。



「避難所までどのような道や場所を通るか」などの防災クイズ。みんなで考えました。



段差を車いすで移動。補助の息が合わないとうまくいきません。



毛布を使って担架をつくる訓練に遭遇しました。

2011年3月11日東日本大震災の被災者・被災地支援の街頭募金

2011年3月30日～4月13日の11日間、街頭での募金活動を実施。1,054,535円の協力があり日本赤十字社へ寄付しました。

また応援メッセージは、東災ポを通じ、宮城県南三陸町の避難所に届けました。(以降5月～11月の毎月11日に実施)

他団体と共に街頭で募金を呼びかけました。CO 災ポ会員28人が参加しました。



様々な取り組みへ参加を広げました

2月5日(土) 東京都生協連主催「風水害を想定した図上演習」に参加。

10月26日(火)「そなえりあ」で開催された、日本生協連・中央地連主催の「首都直下図上演習」に幹事が参加。

内閣府主催でボランティアの連携を課題とした「政府総合防災訓練に事務局と代表幹事が参加。

2010年度災害ボランティア・リーダー養成講座 第10期20名修了

| | | |
|-----|-------------------|--|
| 第1講 | 2010年 7月17日(土) | 開講式とミニ学習会 「被災者支援を通じて～生協理念の社会化への歩み～」東京災害ボランティアネットワーク事務局長 上原泰勇さん |
| 第2講 | 8月3日(土) | 「池袋防災館体験見学」3D映像で被災状況学習、起震体験、煙体験ハウスでの避難、消火器訓練など |
| 第3講 | 9月25日(土) | 「帰宅困難者対応徒歩訓練」東災ポ主催(日比谷公園～武蔵野市武蔵野中央公園) スキル |
| 第4講 | 10月30日(土) | 「災害時を想定した具体的実技研修」炊き出し訓練、担架搬送、ロープワーク スキル |
| 第5講 | 11月13日(土) | 「防災まち歩き体験とマップづくり」 スキル |
| 第6講 | 12月11日(土) | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得 |
| 第7講 | 2011年 1月29日(土) | 「あなたならどうする!?～発災直後の怪我人救出体験～」救出劇で安全確認や救出方法、応急手当を学習 スキル |
| 第8講 | 2月26日(土) | 修了式・車座座談会・交流会 |

東京都・文京区合同総合防災訓練

2010年月8月29日(日) パネル展示やパソコンでの災害クイズで参加。

三宅島年末おそうじボランティア

毎年年末に2回実施していますが、悪天候のために1回のみ活動となりました。

1.17 KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2011年1月15日(土) 国際フォーラム会場の設営支援とおしるこの炊き出し訓練。

コープ災害ボランティアネットワークニュース 第40号～第49号発行

第9回総会

2011年7月2日(土) 国営昭和記念公園 炊き出し訓練を実施。

東日本大震災の被災者・被災地支援の街頭募金と応援メッセージ活動

2011年3月に開始した活動を10月まで毎月11日に取り組みました。

私にできること
日常のボランティアや
被災地の支援へ

CO-OP
災害ボランティアネットワーク

東京にある生協同組合の組合員と職員が一緒に、さまざまな災害支援を行っています。
あなたも参加しませんか！

【問い合わせ先】
コープ関東ボランティアネットワーク事務局
〒184-0011 中野区中央5-41-18
東京都生活協同組合連合会
TEL:03-3383-7800 FAX:03-3383-7840

登米市視察

2012年2月23日(木)宮城県登米市を、ボランティア活動のために現状把握と準備に向けて、視察しました。



《東日本大震災》

2011年3月11日に未曾有の被害をもたらした東日本大震災により、自然災害の強大さとともに地域のつながりの大切さを、改めて知ることになりました。宮城県登米市に拠点を置いて活動する東京災害ボランティアネットワークのボランティア活動や街頭募金活動に取り組みました。

防災フェア2011

内閣府と防災推進協議会主催企画に参加。展示ブースで「生協の東日本大震災支援活動」のパネル展示と、パソコンを使った「ココマロの地震体験クイズ」を行いました。



第10回総会

2012年7月7日(土)に全労災東京都本部で開催しました。はじめに、東京都生協連伊野瀬会長理事から「防災には地域を知る生協が必要であり、生協が連携するためにもCO災ポに期待しています」と挨拶がありました。議案提案と審議では、意見や要望が活発に出され、第1号～第3号議案全てが承認されました。



《基調講演とパネルディスカッション》

「首都直下地震に備えて 東災ポの活動に学ぶ！」東京災害ボランティアネットワーク事務局次長の福田信章さんの講演、続いてパネルディスカッションには4人の登壇者から首都直下地震への備えについて、意見を交換しました。

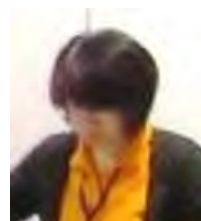
最後に東京都生協連竹内専務理事の挨拶で締めくくり、10年の節目の総会を終了しました。



学生ボランティア団体 Youth for 3.11 事務局の齊藤さん



Youth for 3.11 橋本寛さん



CO 災ポ幹事 西裕子さん



東京災害ボランティアネットワーク 北山光治さん

2011年度災害ボランティア養成講座 第11期18名修了

| | | |
|----------|--------------------|--|
| 第1講 | 2011年 11月12日(土) | 開講式とミニ学習「東日本大震災の被災地から見たこと」東災ポ 福田信章さん |
| 第2講 | 11月26日(土) | 「東京都・小平市合同総合防災訓練」まち歩き体験 |
| 第3講 | 12月10日(土) | 被災シミュレーションと災害ボランティア活動シミュレーション |
| 第4講 | 2012年 1月21日(土) | 修了式と交流会、炊き出し訓練 |
| スキルアップ講座 | | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得 |

東京都・小平市・西京市・武蔵野市・小金井市 合同総合防災訓練

2011年10月29日(土) 東京都生協連ブースで東日本大震災パネル展示、パソコンクイズを実施しました。

三宅島年末おそうじボランティア

2011年12月2日(金)から12月16日(金)からの2回実施。「風の家」での交流餅つき会を行いました。地元の中学生や他団体のボランティアと作業し交流しました。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2012年1月14日(土) 規模を縮小して実施。国際フォーラム会場の設営支援とおしこの炊き出し訓練。

コープ災害ボランティアネットワークニュース 第50号～第55号

第10回総会 2012年7月7日(土)

親子であつまれ！わいわい広場！！

東京都に避難されてきた広域避難者の方と、地域の方との交流サロンを、2012年10月6日(土)に東京都生協連会議室で試験的に開催。CO 災ボ会員もボランティアスタッフとして参加しました。

近所のお子さん連れも遊びにきてくれて、お菓子と飲み物を食べながら楽しくおしゃべりができました。参加者から「子どもをのびのび遊ばせることができました。また開催してほしい」と要望がありました。(12/11、1/22、3/26 開催。鷺宮住宅集会所に会場を変更し 5/23、6/20 開催)



東日本大震災の被災者や被災地への支援活動は様々な形で取り組まれました。「親子であつまれ！わいわい広場！！」もその一つです。このサロンの取り組みが、「来らっせしらさぎ」の活動につながっていました。

東日本大震災被災地で活動

2011年4月～2013年3月まで、東災ボを母体として、宮城県南三陸町を中心に、生協職員と組合員ののべ279人がボランティアとして活動しました。その間、6泊7日から3泊4日の活動日程に変更や、避難所から仮設住宅に活動を移行し、「ふれあい喫茶」の運営など、現場に合わせた活動を実施しました。活動は作業だけでなく、話を聴く交流を大切にしました。



拠点となった「登米保健センター」



ボランティアは全員赤い帽子をかぶるため、被災地では「赤帽さん」と声をかけてくださいます。

東京都・神津島合同総合防災訓練

2012年11月1日(木)に実施、CO 災ボ会員5人が参加し、東京都生協連ブースでパネル展示やパソコンでの災害クイズに120人以上が参加、CO 災ボ作った「災害お役立ち情報」を配付しました。



1,156人が参加(うち島民の方645人)津波で取り残された人の救助訓練も実施。

**登米市・南三陸町支援
まとめ報告交流会**

2013年4月20日(土)中野セントラルパークに94人が参加。CO 災ボ会員も多数参加し、これまでの活動を振り返りました。被災者もお招きし、被災地の現状やボランティアの印象などが報告されました。



2012年度災害ボランティア養成講座 第12期25名修了

| | | |
|-----|--------------------|---|
| 第1講 | 2012年 10月13日(土) | 開講式 ミニ学習「首都直下地震に備えて災害ボランティアとして出来ること」グループ交流で事例に対して話し合い。 |
| 第2講 | 12月1日(土) | 「防災・減災の視点でまちあるき」目黒区の方と混合チームでまち歩き |
| 第3講 | 12月8日(土) | 被災シミュレーションと災害ボランティア活動シミュレーション |
| 第4講 | 2013年 1月26日(土) | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得 スキル |
| 第5講 | 2月9日(土) | 修了式 交流会 炊き出し訓練 |

東京都・目黒区合同総合防災訓練

2012年9月1日(土)東京都生協連のブースで南三陸町での東京災害ボランティアネットワークの活動や、日本生協連の取り組みをパネル展示とパソコンクイズを行いました。

三宅島年末おそうじボランティア

2012年11月30日(金)から12月14日(金)からの2回実施。「風の家」での交流餅つき会も行いました。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2013年1月12日(土)規模を縮小し実施。国際フォーラム会場の設営支援とおしるこの炊き出し訓練を行いました。

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第56号～第65号

第11回総会 2013年7月6日(土)総会、交流会

東京都・あきるの市合同総合防災訓練

2013年11月23日(土)東京都生協連ブースで災害対策本部設置や無線通信訓練、防災クイズを実施。また、物資搬送訓練や炊き出し訓練に参加しました。



CO災ボ会員は支援物資仕分けにも参加しました。

東日本大震災被災者支援活動

東災ボは2013年3月末で被災地での支援活動を地域の団体に引継いで活動を終了し、宮城県登米市を中心にして2年間の活動でつながりができた仮設住宅や地域の方々との訪問交流活動に、CO災ボ会員も参加しました。



8月登米市仮設住宅を訪問



10月仮設住宅の秋祭りのお手伝い

防災まち歩き・マップづくりトレーナー養成講座がスタートし、会員の活躍の場が広がりました。また、東日本大震災避難者交流サロン「来らせしらさぎ」に、ボランティアスタッフとして会員を継続して派遣しました。「親子で集まれ！わいわい広場！！」は、自主的な交流グループの結成など活動の広がりが生まれました。目的の達成を確認し、2014年3月で東京都生協連主催での開催を終了しました。

防災まち歩き・マップづくりトレーナー養成講座

2014年6月13日(金)・14日(土) 地域や生協の活動で、防災まち歩きと防災マップ作りの講師となってすすめられるように、人材育成のための連続講座を開始。中野区東京都生協連会館の周辺を想定して実施しました。



危険な所だけでなく災害時に役立つ所、災害があった後も残したい場所や街の雰囲気も、みんなで確認しながら歩きます。

地図から目標となる場所を決め、予定のコースを設定して下見に出発。



2日目はまち歩きで気づいた点をマップに落とし、よい点や雰囲気も書き足してマップを完成させます。

2013年度災害ボランティア養成講座 第13期69名修了

| | | |
|-----|-------------------|---|
| 第1講 | 2013年 9月21日(土) | 開講式、講演：東京災害ボランティアネットワーク福田信章さん、グループワーク |
| 第2講 | 11月2日(土) | 「防災まち歩き in 阿佐ヶ谷」杉並区で実施。杉並区災害ボランティア養成講座と合同開催。まち歩きと防災マップづくり。 |
| 第3講 | 12月7日(土) | 「避難所について考える」被災&災害ボランティアシミュレーション |
| 第4講 | 2014年 1月25日(土) | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得 スキル |
| 第5講 | 2月8日(土) | 修了式 交流会 炊き出し訓練 |

防災フェア 2013in 六本木

2013年8月31日(土)、9月1日(日)に、生協の東日本大震災の支援活動や、CO災ボの活動をパネル展示で紹介。

東京都・新島村合同総合防災訓練

2013年10月19日(土) パネル展示とパソコンクイズを実施。

三宅島年末おそうじボランティア

11月29日(金)から実施。12月は悪天候で3月7日(金)からに延期して実施。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2014年1月11日(土) 国際フォーラム会場の設営支援とこの炊き出し訓練を行いました。

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第66号～第72号

第12回総会 2014年7月5日(土) 炊き出し訓練と交流

福島の子ども保養プロジェクト「2014コヨットin東京」

2014年8月7日(木)～9日(土)に福島第1原発事故の被災地域の子どもたちと保護者の支援を目的に、東京都生協連が実施しました。CO 災ボへ付き添いボランティアの要請を受け、「子どもたちに東京で思いっきり遊んでもらいたい」という思いをもって、東京都生協連職員や大学生ボランティアと共に活動しました。小学4年生～6年生までの20人が参加し、1日目は葛西臨海公園の水族園見学とバーベキュー、2日目は東京ディズニーランドで遊び、3日目は新木場の木材・合板博物館で木工体験をしました。3日間寄り添った活動はとても有意義な経験になりました。



ハンドブック作成

CO 災ボ養成講座で学びを生かして作成した「災害に備えるハンドブック」の内容を、2014年7月に発行し、学習資料として活用しました。(2015年に内容を見直し)



高齢者・障がい者・妊産婦・子ども・外国人・性的マイノリティなど、災害時での要配慮者といわれる人への支援を考えるために、ジェンダー視点での災害対応・防災・減災の学習に取り組みました。

杉並区阿佐ヶ谷 防災・減災視点のまち歩き

2014年8月30日(土)東京都・杉並区合同総合防災訓練で杉並区社会福祉協議会と連携して実施。CO 災ボ会員は準備から関わりファシリテーターを務めました。障害者の自宅を被害状況を聞き取り避難誘導する訓練や、ワークショップでは福島の障がい者支援センターの代表による要配慮者の支援や防災についてのお話もあり、要配慮者への対応を学ぶ訓練となりました。



スキルアップ講座「弱者を増やさない助け合い・被災者支援」

2014年11月29日(土)に女性と多様なニーズに配慮した、ジェンダー視点でとらえる災害と防災・減災の講座を開催しました。東日本大震災女性支援ネットワーク(現在は解散)のメンバーだった早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員の浅野幸子さんによる講演「男女で異なる被災経験と新しい時代の防災計画」を聴き、「弱者を切り捨てない被災者支援とは」「自分ならどうするか」を考えるグループワークを行いました。



被災した地域の住民として、地域のリーダーや支援者として活動するためにどう考えるか、模造紙に書き出してグループで話し合いました。



2014年度災害ボランティア養成講座 第14期67名修了

| | | |
|------------|-------------------|--|
| 第1講 | 2014年 9月27日(土) | 開講式、オリエンテーション、グループワーク、講演:東京災害ボランティアネットワーク 福田信章さん |
| 第2講 | 10月4日(土) | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得 |
| 第3講 | 11月1日(土) | 防災・減災視点のまち歩きとマップ作り(杉並区と合同) |
| 第4講 | 11月15日(土) | 被災シミュレーション&災害ボランティアシミュレーション |
| 第5講 | 12月6日(土) | 修了式 交流会 炊き出し訓練 |
| スキル | 11月29日(土) | 「男女で異なる被災経験と新しい時代の防災計画」浅野幸子さん |

東京都・杉並区合同総合防災訓練

2014年8月30日(土)東京都生協連のブースで災害支援活動や、養成講座で作成した杉並区のまち歩きマップなどをパネル展示や、「生協の防災クイズ」を実施しました。

三宅島年末おそうじボランティア

2014年11月28日(金)からと12月12日(金)からの2回実施。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2015年1月17日(土)規模を縮小し実施。国際フォーラム会場の設営支援とおしこの炊き出し訓練、シンポジウムへの参加などで協力しました。

コープ災害ボランティアネットワークニュース 第73号～第78号

第13回総会 2015年7月4日(土)中野サンプラザ 総会、活動交流会(近藤宣子さん、伊藤尚子さん、中村昌史さん、今中友子さん、龍沢みどりさん)

まち歩き・マップづくり出前講座

2015年10月20日(水)東久留米自治体別生協連絡会の要請を受け、防災まち歩き・マップづくりトレーナー養成講座を修了した会員が、ファシリテーターとして協力しました。西都保健生協の事務所周辺のまち歩きを実施し、作成したマップは「くらしフェスタくるめ」で展示されました。



コースづくりのためCO災ボ会員が「気づきがたくさんある・まちの良さが見つけられる・当日楽しく実施できる」コースを探して決めます。当日は安全に楽しく歩けるように、目配り気配りが大切です。

ファシリテーターはマップ作りのフォローをします。



来らせしらさぎ

東日本大震災で中野区に広域避難されている方と地元の方がつどうサロンは、5年目に入りました。CO災ボ会員の近藤宣子さんと藤田はるみさんがボランティアとして引き続き参加しています。



中野区社会福祉協議会主催で中野区の都営鷺宮住宅の集会室で毎週金曜日に開催されています。

被災者の心のケアのための事前知識、コミュニケーションのための基礎知識を学びました。

スキルアップ講座第2講

「被災者支援傾聴ボランティア養成講座」

2016年2月6日(土)に、被災地でこころのケアを行ってきた臨床心理士の石川雅子さんから、コミュニケーション能力で最も重要なスキルである「傾聴」を学びました。講座の開始前に講師とグループワークのファシリテーターをつとめる幹事は、綿密な打ち合わせを行いました。



アイスブレイキング「わかめ体操」海の中のわかめになり、ユラユラ身体を動かすと、心もリラックスします。

2015年度災害ボランティア養成講座 第15期41名修了

| | | |
|-----|-------------------|--|
| 第1講 | 2015年 10月3日(土) | 開講式、オリエンテーション、グループワーク |
| 第2講 | 10月17日(土) | 「防災・減災視点のまち歩きとマップづくり」 |
| 第3講 | 10月31日(土) | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得 |
| 第4講 | 11月28日(土) | 避難所運営ゲーム(HUG)東京災害ボランティアネットワーク 福田信章さん |
| 第5講 | 12月5日(土) | 修了式 避難所について考えるクロスロード風ゲーム |
| スキル | 9月12日(土) | 防災まち歩き・マップづくりトレーナー養成講座 修了者が養成講座第2講のファシリテーターとして活動 |
| | 2016年 2月6日(土) | 「被災者支援傾聴ボランティア養成講座」臨床心理士 石川雅子さん |

東京都・立川市合同総合防災訓練

2015年9月1日(土)東京都生協連のブースでは災害支援の活動紹介、第15期養成講座で作成した防災・減災まち歩き防災マップ展示、「生協の防災クイズ」を実施しました。

三宅島年末おそじボランティア

2015年12月18日(金)から実施「風の家」での交流餅つき会も行いました。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2016年1月16日(土)国際フォーラム会場の設営支援とおしるこの炊き出し訓練で参加しました。

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第79号～第84号

第14回総会 2016年7月4日(土)そなエリア東京総会、そなエリア見学体験、参加者交流

2016 ふれあいフェスティバル

2016年10月23日(日)練馬区光が丘公園で東日本大震災の「避難者と支援者による2016ふれあいフェスティバル」が開催されました。避難者の方が運営する喫茶のお手伝いや、手作りのバッグや小物の販売にボランティア参加しました。



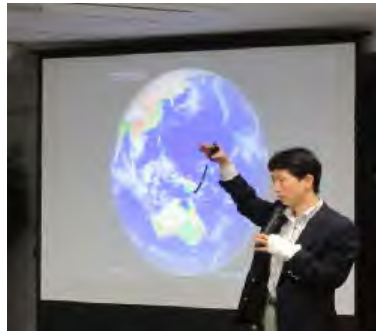
広域避難者支援連絡会 in 東京が主催する「避難者と支援者によるふれあいフェスティバル」は2015年から開始。(2015年7月東京都への避難者は7,210人)東京都に避難されている方同士や避難者と支援者のつながりを作る場です。交流の場である喫茶などに、毎回会員生協が食材を提供し、組合員や職員が運営のお手伝いをしました。

地震に加え、豪雨や大雪などの自然災害も年々被害が甚大になり、災害の違いから被害の性質も違い、対策にも違いがあることを理解して備えることを学びました。

スキルアップ講座

「気象予報士に聞く！豪雨・竜巻・川の氾濫！身をまもるには」

2016年11月19日(土) 気象予報士の水越祐一さんの講演「身近なお天気と地球温暖化」では、防災情報を利用して気象災害から身を守ることを学びました。後半のワークショップは「経験したことの無い大雨、その時どうする？」と題し、グループに分かれて家族構成や住居の条件をカードから選んで決め、ハザードマップを見ながら意見を出し合いました。



スキルアップ講座「家族を守る！減災セミナー」

2017年2月4日(土)日本赤十字社東京都支部救護課講習係 若松大輔さんと小宮まりさんから首都直下地震被害想定解説と、被災時に役立つ応急手当の実技を受講しました。

熊本地震被災者支援のための街頭募金

2016年5月15日(日)、6月12日(日)、7月10日(日)様々な団体が協働し都内の17カ所で一斉街頭募金を実施され、東京都生協連の活動に参加しました。



世田谷区烏山区民センター



レジ袋の両側を切ると三角巾の替わりに



毛布とストッキングでガウンに

2016年度災害ボランティアスキルアップ講座 **スキル**

| | | |
|-----|--------------|--|
| 第1講 | 10月15日(土) | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得 |
| 第2講 | 9月17日(土) | 防災まち歩き・マップづくりトレーナー養成講座(新宿百人町3丁目町会) |
| 第3講 | 11月19日(土) | 「気象予報士に聞く！豪雨・竜巻・川の氾濫！身をまもるには」気象予報士の水越祐一さん |
| 第4講 | 2017年2月4日(土) | 「家族を守る！減災セミナー」日本赤十字社東京都支部救護課講習係 若松大輔さん・小宮まりさん |
| 第5講 | 3月4日(土) | 「ごちぼう」非常食のアレンジレシピなど |

東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練

2016年9月4日(日) 自助・共助訓練会場でボランティアセンター立ち上げ訓練にスタッフとして参加しました。

三宅島年末おそうじボランティア

2016年11月25日(金) から12月16日(金) からの2回実施。「風の家」での交流餅つき会も行いました。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2017年1月14日(土) 国際フォーラム会場の設営支援とおしこの炊き出し訓練に参加。

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第85号～第90号

第15回総会 2017年7月15日(土)

学習交流会講演「災害時、要配慮者の暮らしを誰がどう支えるか」浅野幸子さん、多様性に気付くカードワーク

東京都・調布市合同防災訓練「防災まちあるき」

2017年9月3日(日) 北多摩南部ブロックボランティア・市民活動センターから要配慮者とその支援者の方々にも訓練参加を呼びかけ、CO 災ポ会員はいっしょにまち歩きを体験しました



ファシリテーターは備蓄庫がある児童館を紙芝居で紹介



住民は黄色い目印を出すことで訓練に参加

東京都生協連会館の近隣町会のみなさんに、養成講座の参加を募りました。また、第15回総会の学習・交流会で要配慮者に対する支援を学んだことから次の学びにつながりました。

交流会「あの日を忘れない」

東日本大震災を忘れず現状を知るために、2018年3月3日(土)に交流会を開催しました。広域避難者支援連絡会 in 東京を通して知り合った被災者お二人からお話を伺いました。

また、「来らっせしらさぎ」開設当時からボランティアスタッフとして参加されているCO 災ポ会員のお二人からもお話を伺いました。当事者の方からお話を伺うことができ、今後の支援のあり方を考える時間となりました。



広域避難者の後藤さん(左側)と松崎さん(右側)



昼食交流でお話はずんでいました



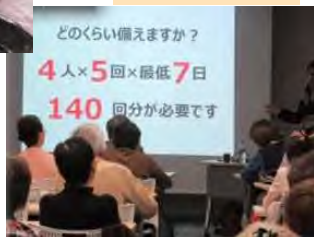
スキルアップ講座「ト・イ・レを考える」

2018年2月17日(土) 災害時の一番の困りごととなり、関心の高いテーマであるトイレについて学びました。NPO 法人日本トイレ研究所代表理事の加藤篤さんのお話は、災害時に命やくらしを守るためのトイレ対策の重要性を認識し、具体的な動きにつながりました。



携帯トイレの実験。災害時には真っ先に、自宅のトイレにも携帯トイレをつけなければなりません。

クイズ形式でトイレや排泄物のことを学びました。



左から) 広域避難者支援連絡会 in 東京事務局の加納佑一さん、「来らっせしらさぎ」にボランティア参加するCO 災ポ会員の藤田はるみさん、近藤宣子さん

学習・交流会「いつもの暮らしの中でできる減災」

2017年7月14日(土) 第16回総会終了後に実施。講師の防災減災アドバイザー減災塾塾長の水島重光さんは、新潟中越地震や東日本大震災の際に先遣隊として現地で活躍されました。少子高齢化社会の防災、食料・水・トイレの備え、要配慮者の急増への対応などを考え、今後の活動につながる講座でした。



2017年度災害ボランティア養成講座 第16期27名修了

| | | |
|------------|--------------------|--|
| 第1講 | 2017年 10月14日(土) | 開講式、オリエンテーション「過去の災害から、地域の防災・減災へ」活動報告、パネルディスカッション |
| 第2講 | 10月28日(土) | 「防災・減災視点のまち歩きとマップづくり」 |
| 第3講 | 11月25日(土) | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得 |
| 第4講 | 12月9日(土) | 避難所ワーク「クロスロード+ONE」東災ポ 福田信章さん スキル |
| 第5講 | 2018年 1月27日(土) | 修了式「要配慮者と地域」、ごちぼうを作って食べながら交流、 |
| スキル | 2月17日(土) | 「ト・イ・レを考える」NPO 法人日本トイレ研究所代表理事の加藤篤さん |

東京都・調布市合同総合防災訓練

2017年9月3日(日) 東京都生協連のブースで活動紹介や生協の防災クイズを実施。会員は防災まち歩き訓練にも参加。

避難者と支援者による2017ふれあいフェスティバル

2017年10月1日(日) 江戸川区の篠崎公園で開催。開催方法変更により、生協の協力参加は終了した。

三宅島年末おそうじボランティア

2017年12月15日(金)からと12月22日(金)の2回実施。高齢者宅の掃除や交流に参加しました。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2018年1月13日(土)国際フォーラム会場の設営支援と甘酒の吹き出し訓練で参加しました。

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第91号～第95号

第16回総会 2018年7月14日(土)

学習・交流会

2018年7月

西日本豪雨街頭募金

東災ボの呼びかけで東京都生協連が取り組んだ募金活動に協力しました。都内のべ6カ所、練馬駅前や中野駅北口広場などで実施しました。



CO災ボが所属生協や地域とつながって減災や防災に取り組み、災害時に活動できるように、多彩な講座を組み立てました。

「防災・減災フェスタ」

スキルアップ講座の1つとして、2019年3月30日(土)に中野区社会福祉協議会・中野宮桃町会・全労災の協力で開催し、今までに学習してきた防災や減災の知識を広く知らせることができました。



プラス ONE・防災トランプで災害時の問題解決



中野社会福祉協議会：寄り添い支援事業など取り組み紹介

防災トランプ～楽しく学ぶ防災・減災

2018年9月22日(土)に、開発者である長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科助教授の福本壘さんから学びました。受講後の目標は、自分の地域や職場などに合った「防災トランプ」を作成することです。話し合っって作ることが、地域防災を考えるきっかけとなります。



宮桃町会：黄色いハンカチや防災セミナーの展示。防災スリッパづくり



全労災：災害時の保障の備え



12月19日(水) 東都生活協同組合主催防災体験・学習会に、CO災ボの「ごちぼう」の学習資料を提供し、事務局が参加してごちぼうとローリングストックについて説明しました。

3月4日(月) 北区まちづくり主催「私たちのすむまち北区」でCO災ボブースを設け、防災トランプで遊びながら交流しました。

4月22日(月)～23日(火)東京都生協連主催「福島を知るスタディツアー」に幹事が参加し、視察や交流に参加しました。視察の内容や感じたことなどを、総会で報告しました。

2018年度災害ボランティア養成講座 第17期18名修了

| | | |
|-----|--------------------|--|
| 第1講 | 2018年 10月27日(土) | 開講式、オリエンテーション、グループワーク |
| 第2講 | 11月17日(土) | 「防災・減災視点のまち歩きとマップづくり」 |
| 第3講 | 12月8日(土) | 被災と災害ボランティア活動シミュレーション |
| 第4講 | 2019年 1月19日(土) | 「普通救命講習(東京消防庁プログラム)」救命救急の必要性の講義、心肺蘇生法・AED講習。受講者は普通救命講習初級認定証を取得 |
| 第5講 | 2月9日(土) | 修了式 交流会 炊き出し訓練 |
| スキル | 2018年 9月22日(土) | 「防災トランプ～楽しく学ぶ防災・減災」長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科助教授 福本壘さん |
| | 2019年 3月30日(土) | 「防災・減災フェスタ」 |

東京都・中央区・港区合同総合防災訓練

2018年9月2日(日) 中央区の「クロスロード」港区の「防災まち歩き」「要支援者体験」に参加。

三宅島年末おそうじボランティア

2018年11月22日(金)からと12月21日(金)からの2回実施。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2019年1月12日(土) 国際フォーラム会場の設営支援と甘酒の炊き出し訓練を行いました。

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第96号～第100号

第17回総会 2019年7月6日(土)

学習・交流会「災害から命と健康 本当に守れますか？」減災と男女共同参画研修センター浅野幸子さん

東京都・多摩市合同総合防災訓練

2019年9月1日(日)東京都生協連のブースでは、こくみん共済coopの「ママ防災」の情報を展示、防災クイズを実施しました。CO 災ボ会員は防災まち歩きのサポートに協力しました。全体オリエンテーションを受け、多摩市総合福祉センターを出発しました。



連絡手段として貴重な公衆電話の場所を確認しました

多摩センターにゴール。全員で感想を出し合いました

令和元年台風豪雨災害支援募金活動

東災ボの呼びかけにより東京都生協連が実施した街頭募金活動にCO 災ボ会員も参加しました。

10月に2回、中野駅と東京都生協連会館前で実施しました。



スキルアップ講座「被災者再建カードを使ったゲーム」

2019年11月9日(土)永野海さんから、カードゲームで楽しく、弁護士としての立場から、どのような支援があり手続きが必要か、被災の違いで必要な支援に違いがあることなど、具体的な支援制度を学びました。



被災した時を想像し、カードを選び置きます

コープ災害ボランティア養成講座を隔年とし、2019年度は会員のスキルアップとなる講座を組み立て、オープン講座として生協組合員や職員、地域の人たちなどにも広く受講できるようにしました。

いま、わたしたちに、できること。

1. 17 KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2020年1月11日(土)東災ボ主催により東京国際フォーラムで開催。会場設営と後片付け、活動紹介展示、甘酒の炊き出し訓練で協力しました。25年目の節目としてこの形での企画は最後となりました。



みやけじま風の家 おそうじボランティア

2019年11月22日(金)～24日(日)に実施され、CO 災ボ会員は他団体のボランティアといっしょにひとり暮らしの高齢者の住居や庭の掃除や片付けをして、昼食で交流しました。



スキルアップ講座「3. 11 知る、語る、つながる」

2020年2月15日(土)東日本大震災時中学生と高校生だった香月昂飛さんと市村葵惟さんから、その時の体験やお気持ちをお聴きしました。災害時には「まず自分の命を守り、避難できたと家族を信じること」「被災はさまざまに決めつけないこと」の大切さを学びました。



2019年度災害ボランティアスキルアップ講座

| | | |
|-----|---------------|--|
| 第1講 | 2019年11月9日(土) | 「災害時の支援制度を活用した生活再建を感じる」被災者生活再建ワークショップ」弁護士 永野海さん |
| 第2講 | 12月8日(土) | 「まちを歩いて知ろう～災害がおきたら、あなたはどうか動く～」中野区社会福祉協議会共催 |
| 第3講 | 2020年1月25日(土) | 「災害時の一番の困りごと『ト・イ・レ』を考える」特定非営利活動法人日本トイレ研究所 松本彰人さん |
| 第4講 | 2月15日(土) | 「3・11 知る、語る、つながる」香月昂飛さん、市村葵惟さん |

東京都・多摩市合同総合防災訓練

2019年9月1日(土) 自助・共助訓練の防災まち歩きに協力。

三宅島年末おそうじボランティア

2019年11月22日(金) から実施。12月の2回目は台風により3月に延期、新型コロナ感染対応のため中止となりました。

1.1 7KOBE MEMORIAL 灯りのつどい

2020年1月11日(土)

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第101号～第105号

第18回総会 2020年7月3日(土)

学習・交流会「災害から 命と健康 本当に守れますか?～高齢者・障がい者・子ども・女性の視点から～」減災と男女共同参画研修推進センター共同代表 浅野幸子さん

新型コロナ禍が続き企画や会議の延期や中止が相次ぎ、オンライン開催が急増しました。また、「3カ年計画」開始の年度でしたが、十分な論議が見込めず、2021年度への繰越しを確認しました。

東京都・北区合同総合防災訓練

2020年11月22日(日)東京都生協連のブースでは、各生協のローリングストックの取り組みを展示。こくみん共催coopの「ママ防災備蓄編・行動編」を配布しました。医療救護訓練には、東京ほくと医療生協と東京都生協連が参加し、新型コロナ感染拡大防止対策を踏まえ訓練を行いました。



東京都生活文化局長がブースを訪れ、展示を見学。



緊急医療救護所の設置・運営、トリアージ、重症・中等症・軽症エリアでの医療処置、通信や指揮命令などの訓練

来らせしらさぎ

「来(こ)らせしらさぎ」(中野区社会福祉協議会主催)は新型コロナウイルス禍でもなるべく開催しました。手洗いと消毒作業、マスクの着用、ディスタンスの上で、飲食を行わず、通常的时间より短縮するなど、緊急事態宣言で休止する場合もありましたが、休止中も公園で体操だけは継続するなど、顔を合わせて声をかけ合う時間を作るようにしました。



会場の都営白鷺1丁目第3アパート集会室



CO 災ポ会員はオンラインで参加

首都直下地震等の災害ボランティア活動2020連携ワークショップ

2021年2月4日(火)に参加。午前支援の悩みや考え方をテーマにしたパネルディスカッション。午後のワークショップのテーマは、東京湾北部地震を想定し「震災3カ月後にどのような連携や協働ができるか」。

プレイヤーには生協やボランティアグループ、社会福祉協議会、労働組合、青年会議所など、様々な団体から参加がありました。

CO 災ポ会員はプレイヤーが実施する訓練を検証する見学者として参加しました。



基礎講座第5講「災害に負けない地域づくり」

2021年3月27日(土)に稲城市社会福祉協議会の栗原和恵さんから、社会福祉協議会職員として、また居住地である八王子市南浅川町の住人として、令和元年台風19号の被害と防災活動への取り組みを、東災ポの福田信章さんが聞き手となってお聞きしました。



福田信章さん



栗原和恵さん

2020年度災害ボランティア養成講座 第18期37名修了

| | | |
|-----|--------------------|--|
| 第1講 | 2020年 11月28日(土) | 開講式、オリエンテーション、講義「命をまもる防災・減災を学ぶ～被災地支援の経験から～」東災ポ 福田信章さん 参集+オンライン |
| 第2講 | 12月19日(土) | オンライン講義「コロナ時代の避難所運営・災害対策～自分自身や家族をまもるための行動とは」男女共同参画研修推進センター共同代表 浅野幸子さん スキル オンライン |
| 第3講 | 中止 | 「普通救命講習」1月23日予定が新型コロナ感染拡大により延期、緊急事態宣言により中止 |
| 第4講 | 2021年 2月20日(土) | 「なぜ人は逃げ遅れるのか?～自然災害から命を守るために、知っておきたいこと～」東京都立大学都市環境学部都市製作科学教授 市古太郎さん スキル オンライン |
| 第5講 | 3月27日(土) | 修了式、講義「災害に負けない地域づくり」稲城市社会福祉協議会 栗原和恵さん ワークショップ「プラスワン」東災ポ 福田信章さん オンライン |

東京都・北区合同総合防災訓練

2020年11月22日(日) 来場者、出展者とも人数を制限して実施。

三宅島年末おそうじボランティア

2020年11月と12月に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のためやむなく中止となりました

コープ災害ボランティアネットワークニュース 第106号～111号

第19回総会

2021年7月9日(金) 書面議決書開票、7月10日(土) 報告・学習交流会(オンライン)

スキルアップ講座「自然とともに生きる知恵が命を守る～災害時に役立つアウトドアスキル～」

10月30日(土)オンライン講座。アウトドア防災ガイドのあんどうりすさんから、アウトドアのスキルや日常で使っている物が災害時や防災に役立つこと、その使い方のコツや工夫などを学びました。携帯トイレの実験やご自分が愛用されている物も紹介され、すぐに実践につながる講習でした。



感染症の流行時でも自然災害は発生します。複合災害への備えを学ぶ場をつくることもCO災ボの役目です。オンラインを活用したオープン講座とし多くの人に情報を届けることを目指しました。

東村山市防災まち歩き

東京都・東村山市合同総合防災訓練は中止となりましたが、訓練の1つである「防災まち歩き」は単独で2022年5月15日(日)に実施されました。メイン会場と2コースのまち歩きをオンラインでつなぎ、会場では東村山市の紹介や防災についてのパネルディスカッション、実際に歩く現場からは防災拠点やまちの様子を中継しました。幹事がまち歩きに参加しました。



自治会独自に設置している防災備蓄倉庫を見学。

首都直下地震時等の災害ボランティア活動 2022連携ワークショップ

2022年2月27日(日)連携ワークショップ、3月2日(水)に勉強会・交流会に会員が参加しました。地図を使って被害想定や災害時に役立つ場所などを視覚的に理解する図上演習ワーク、クロスロード+ONE(プラスワン)体験に参加しながら、ワークショップを主催する場合の講習の組み立て方や実施方法などを学びました。勉強会・交流会ではプログラムを実践した地域支援団体の活動報告や、グループに分かれて意見交換を行いました。



スキルアップ講座

「東京の大規模水害への備え～犠牲者ゼロのために～」

2022年5月28日(土)に東京都の大規模水害について学びました。東京都と墨田区の課題と取り組みを知り、一人ひとりが水害への備えと対策を考える機会となりました。



東京都の地図に交通規制がかかる・かからない主要道路、全壊や焼失の激しい地域を書き入れ、被害の状況を理解します。1つの自治体だけでなく周辺の自治体のハザードマップを合わせて、地域全体の被害の特徴を見ました。



東京都総務局総合防災部防災計画課 濱中哲彦さん



墨田区都市計画部危機管理担当防災課 山中淳一さん

「市民協働 東京憲章」賛同団体に登録

東京都災害ボランティアセンターアクションプラ推進会議が2021年に策定した「市民協働 東京憲章」の賛同団体に登録しました。

2021年度CO災ボスキルアップ講座《オンライン・オープン講座》

| | | |
|-----|--------------------|---|
| 第1講 | 2021年 10月30日(土) | 「自然とともに生きる知恵が命を守る～災害時に役立つアウトドアスキル～」アウトドア防災ガイド あんどうりすさん |
| 第2講 | 12月4日(土) | 「新型コロナ禍における 自然災害が起きた時の避難生活」一般社団法人ピースポート災害支援センター |
| 第3講 | 2022年 2月19日(土) | 「障害の理解から学ぶ 防災と減災」NPO 法人防災減災絆プロジェクト代表 朝倉才さん |
| 第4講 | 5月28日(土) | 「東京の大規模水害への備え～犠牲者ゼロのために～」東京都総務局総合防災部防災計画課、墨田区都市計画部危機管理担当防災課 |

東京都・東村山市合同総合防災訓練

2021年11月21日(日)に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。

三宅島年末おそうじボランティア

2021年11月と12月に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のためやむなく中止となりました。

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第112号～第115号

第20回総会 2022年7月9日(土)を予定
CO災ボ20年の活動のまとめ報告



新型コロナウイルス禍での活動 CO災ボ代表幹事 西 裕子

全国的な大規模災害ともいえる新型コロナウイルス感染の対応により 2020 年 3 月以降、会場の利用制限や感染対策の順守など、これまでの企画開催方法が根底から覆されました。まずは命と安全の確保を優先しオンライン会議・オンライン企画を開催。不慣れながらも手探りで実施開催できたのは、ひとえに事務局の努力と幹事会メンバーの「今、私たちにできること」の想いではないでしょうか。その結果、オンライン企画には多数の参加があり新たな広がりも見せています。

新型コロナ禍でも豪雨、地震などの自然災害は発生します。CO 災ボは感染拡大時での支援実態をその都度連携団体から報告を受け、どのように会員に発信したらよいか、何を伝えたらよいかを考え検討してきました。避難所運営の基本はインフルエンザやノロウイルスを流行させないと同様に衛生対策の徹底、感染拡大の防止を目的にしたゾーニング（居住区分）の確立です。新型コロナ感染者や濃厚接触者の居住を完全に区分するレイアウトを念頭に置かなければなりません。これらのことを避難者個人が徹底すること、そして支援するボランティアは感染を持ちこまないことが重要です。被災地支援の最優先は受援側の被災地の意思であることも全国的になりました。

今までに学んできたことや経験を生かしながら、更なる災害に対する新しい知識や知恵を積み重ねることで、首都圏直下地震に向けた防災・減災活動や被災地支援など CO 災ボの目的が果たしていければと思います。

これからのありたい姿 CO災ボ 3 年計画

■第 17 回総会（2019 年 7 月 6 日）で方針化した「今後の CO 災ボのあり方を軸に中期 3 年計画を策定すること」「今後の情報媒体や発信の仕方などについて検討すること」を受けて、2019 年度の幹事会は、3 年後のありたい姿を目指し、取り組むべき活動を 3 つの柱にまとめて中期 3 年計画を策定しました。

【活動の 3 つの活動】(1) 地域で防災・減災に関する活動 (2) 所属生協に活動を広げる活動
(3) 東災ボと連携して被災地での活動

■第 18 回総会（2020 年 7 月 3 日）で中期 3 年計画が承認されましたが、その後に起きた新型コロナ感染症により、幹事会は 1 年延期して 2021 年度から計画を見直ししながら推進することを決定しました。

■4 回の論議で「災害や防災に対する意識や関心が高まっている」「地域での活動なら参加しやすく、顔が見える交流ができる」「組合員活動や職場でだれが会員なのか知らない、会員同士が繋がらない」「CO 災ボが持つ資源が生かされていない」などの課題を抽出し、2022～2023 年度の活動目標を立てました。

- (1) CO 災ボ会員の名簿の活用で職員会員の把握と生協内でのつながり、会員の多い地域を重点地域として選び市区ごとに会員が集まる場づくりを検討する。
- (2) 職員や組合員の研修に活用してもらえるような基礎講座やスキルアップ講座を企画する。
- (3) CO 災ボ企画を組合員活動で活用できるように活動ハンドブックなどに掲載してもらう。
- (4) CO 災ボの説明や取り組みを知らせる。年間通して基礎講座の案内や申し込み方法を案内する。
- (5) オンライン講座や会議、SNS を活用し、非常時でも学べてつながることができる仕組み。アンケートを活用したネットを使わなくてもつながることができる。

■第 20 回総会で活動目標を確認し、取り組みを進めていきます。

団体略称の解説

| | | | |
|--------------------|--|----------------------|---|
| 生活協同組合 コープとうきょう | 2013 年にさいたまコープとちばコープと合併し「生活協同組合コープみらい」に変更。 | 東災ボ | 東京都災害ボランティアネットワークの略称。首都直下地震など首都圏での大災害を想定し、地域や組織・団体の防災力向上に向け防災および減災啓発活動や参加団体・関係団体との連携活動、被災地や被災者支援活動を目指す。「東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議」の幹事団体。現在 CO 災ボの活動全般のオブザーバーとして協力。 |
| 生活協同組合 東京マイコープ | 2008 年に「生活協同組合パルシステム東京」に変更。 | | |
| 全労災 | 共催事業を行う生協「全国労働者共済生活協同組合連合会」の略称。2019 年から愛称をこくみん共済 coop に。 | | |
| 日本生協連 | 日本生活協同組合連合会の略称。各地の生協や生協連合会が加入する全国連合会。 | | |
| 東京都生協連 | 東京都生活協同組合連合会 | | |
| | | 広域避難者支援 連絡会 in 東京 | 東日本大震災により東京に避難している人への支援を目的に、社会福祉協議会・活動団体・生協などが活動する連絡会。 |

CO災ボ登録会員データ〔2022年6月1日〕

居住地別

| 居住地 | 会員数 | 居住地 | 会員数 | 居住地 | 会員数 |
|------|-----|------------|------------|-------------|------------|
| 足立区 | 11 | 文京区 | 4 | 東久留米市 | 4 |
| 荒川区 | 6 | 港区 | 5 | 東村山市 | 12 |
| 板橋区 | 15 | 目黒区 | 8 | 東大和市 | 3 |
| 江戸川区 | 23 | 区部計 | 246 | 日野市 | 2 |
| 大田区 | 6 | 昭島市 | 1 | 府中市 | 8 |
| 葛飾区 | 6 | あきる野市 | 2 | 福生市 | 2 |
| 北区 | 9 | 稲城市 | 5 | 町田市 | 12 |
| 江東区 | 14 | 青梅市 | 5 | 三鷹市 | 9 |
| 品川区 | 6 | 清瀬市 | 3 | 武蔵野市 | 8 |
| 渋谷区 | 9 | 国立市 | 4 | 西多摩郡 | 1 |
| 新宿区 | 16 | 小金井市 | 3 | 市部計 | 168 |
| 杉並区 | 18 | 国分寺市 | 5 | 埼玉県 | 32 |
| 墨田区 | 1 | 小平市 | 6 | 千葉県 | 14 |
| 世田谷区 | 25 | 狛江市 | 5 | 神奈川県 | 11 |
| 台東区 | 4 | 立川市 | 6 | 茨城県 | 3 |
| 中央区 | 6 | 多摩市 | 8 | 群馬県 | 1 |
| 千代田区 | 1 | 調布市 | 17 | 長野県 | 1 |
| 豊島区 | 5 | 西東京市 | 14 | 宮城県 | 1 |
| 中野区 | 26 | 八王子市 | 22 | 東京都外 | 63 |
| 練馬区 | 22 | 羽村市 | 1 | 合計 | 477 |

所属別

| 生協名 | 会員数 |
|-------------|------------|
| コープみらい | 168 |
| パルシステム東京 | 92 |
| 東都生協 | 70 |
| 生活クラブ生協 | 21 |
| 東京南部生協(登録) | 4 |
| パルシステム千葉 | 4 |
| コープネット事業連合 | 19 |
| パルシステム連合会 | 15 |
| 生活クラブ事業連合 | 1 |
| こくみん共済 coop | 31 |
| 大学生協東京 | 3 |
| 東京西部保健生協 | 1 |
| 八王子保健生協 | 1 |
| 消費住宅センター | 3 |
| 日本生協連 | 1 |
| 東京都生協連 | 18 |
| 中野区橋場町会 | 7 |
| 中野区宮桃町会 | 6 |
| 中野区桃園町会 | 2 |
| その他 | 10 |
| 合計 | 477 |

歴代の代表幹事と副代表幹事 ※敬称略

| | | |
|--------|----------------|----------------|
| 2002年度 | 蛭川 浩一(東京マイコープ) | |
| 2003 | 田村 薫(コープとうきょう) | |
| 2004 | 北川 達也(生活クラブ生協) | |
| 2005 | 小澤 朋之(東都生協) | |
| 2006 | 小澤 朋之(東都生協) | |
| 2007 | 小澤 朋之(東都生協) | 的屋 勝一(東京マイコープ) |
| 2008 | 的屋 勝一(東京マイコープ) | 渡辺 徹(東都生協) |
| 2009 | 的屋 勝一(東京マイコープ) | 渡辺 徹(東都生協) |
| 2010 | 的屋 勝一(東京マイコープ) | 大矢 憲二(コープみらい) |
| 2011 | 的屋 勝一(東京マイコープ) | 大矢 憲二(コープみらい) |
| 2012 | 的屋 勝一(東京マイコープ) | 大矢 憲二(コープみらい) |
| 2013 | 大矢 憲二(コープみらい) | 野崎 雅利(生活クラブ連合) |
| 2014 | 大矢 憲二(コープみらい) | 倉田 充也(生活クラブ生協) |
| 2015 | 大矢 憲二(コープみらい) | 松本 淳(東都生協) |
| 2016 | 大矢 憲二(コープみらい) | 野崎 雅利(生活クラブ連合) |
| 2017 | 野崎 雅利(生活クラブ連合) | 白上 勝治(東都生協) |
| 2018 | 野崎 雅利(生活クラブ連合) | 白上 勝治(東都生協) |
| 2019 | 野崎 雅利(生活クラブ連合) | 西 裕子(東都生協) |
| 2020 | 未選出 | 未選出 |
| 2021 | 西 裕子(東都生協) | 未選出 |

修了者: 716人

現在の会員数: 477人

(転居などの脱退者を省いた人数)

CO 災ボは、総会で選出される4～10名の幹事による幹事会で自主的に運営され、第1回幹事会で代表幹事と副代表幹事を互選します。

幹事の任務は、CO 災ボの運営や活動にかかわることの審議や検討、各種ボランティア団体、各種連絡会等との協議、総会の招集などがあり、特に代表幹事は重要な役目を担ってきました。

東京都生協連コープ災害ボランティアネットワーク会則

【目的】

第1条 東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークは、地域で防災・減災に関する活動に参加したり、所属生協に活動を広げることなどのできる、防災・減災に資する人材の育成を目的とします。また、同ネットワークは国内各地で発生する大規模災害に際して、条件が整う場合は、東京都生協連と共同し、東京災害ボランティアネットワークと連携して被災地での活動を行ないます。

【名称】

第2条 名称は東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークとします。略称は、「CO災ボ」とします。

【会員登録】

第3条 次の条件を満たした人で、登録を希望する方は、東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークに会員登録されます。

- ・東京都生協連の会員生協に所属する役職員・組合員で、東京都生協連コープ災害ボランティアネットワーク養成講座を修了した人。
- ・東京都生協連コープ災害ボランティアネットワーク幹事会で適当と認められた人。なお、東京都生協連の会員生協に所属していない人で、東京都生協連コープ災害ボランティアネットワーク養成講座を修了し、登録を希望する人は特別会員となることができる。ただし、特別会員は総会での議決権はない。

【脱退】

第4条 次の場合は東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークの登録を取り消します。

- ・本人の希望による場合
- ・特別の事情が生じた場合

【総会および事業年度】

第5条 東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークは、年に一度総会を開催し、年度の活動報告、次年度活動方針、幹事の選出等を行ないます。総会は幹事会が招集します。総会運営規程は別途定めます。

2 事業年度は4月1日より翌年3月31日までとします。

【運営】

第6条 東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークの運営は、登録会員の中から4名以上10名以内の幹事を選出し、幹事会を設置し運営にあたります。幹事会運営細則は別途定めます。

- 2 幹事会は必要に応じて開催します。
- 3 東京都生協連が事務局として運営をします。

【財政】

第7条 東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークの財政は、実費を東京都生協連の財政から支出することとします。又この会に賛同していただいた方の寄付金等で運営します。

【東京災害ボランティアネットワークとの連携】

第8条 東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークは、東京都生協連が加盟している東京災害ボランティアネットワークとともに、連携して活動をすすめていきます。

【派遣】

第9条 東京都内はもとより、国内各地で発生する大規模災害時には、東京都生協連との協議の上、関係諸団体と連携し災害地への派遣を行ないます。

【活動】

第10条 東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークは、地域での防災・減災に資する人材育成につながる活動を幹事会で検討し、実施します。

- ・防災、減災に資する人材の育成
- ・交流情報紙の発行、その他の広報活動

第11条 東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークの事務局を東京都生協連に設置します。

第12条 本会則の改廃は、総会でを行います。

編集後記

CO 災ボの会員のみならず関係団体のみならずには、日ごろのご協力で心から感謝を申し上げます。

CO 災ボ設立から 20 年の節目となり、幹事会は活動のまとめを作成すること、編集作業の担当として幹事 2 名と事務局 2 名を決定しました。作業は資料探しと収集からスタートし、不足する資料は他の資料で補足しながら 20 年の活動を洗い出しました。そこから 1 年ごとに特徴的な活動を選び出し、活動を列記するだけでなく設立までの経緯や、当時の活動の目的意識なども記述するように努めました。

編集委員の西裕子代表幹事と中村佳子幹事の豊富な知識と経験に基づいた意見と議論により、5 回の編集会議で着実に作業が進んだだけでなく、事前の資料収集では貴重な資料を提供してくださいました。お二人の存在が無ければ 20 年の活動をまとめることは不可能でした。また、元代表幹事の 大矢憲二さんは内容の点検を引き受けてくださいました。ご助力ありがとうございました。

このまとめは今後も加筆や訂正を行い、CO 災ボの活動に活用して参ります。



東京都生協連コープ災害ボランティアネットワークの20年
発行者:東京都生協連コープ災害ボランティアネットワーク幹事会
発行日:2022年6月1日 第1版